

園長だより

No. 1

満開の桜のもと新年度を迎えることができました。

新入園児の保護者の皆様、心からご入園のお喜びを申し上げます。

また、一学年ずつ進級した子どもたちの保護者の皆様、進級おめでとうござい
ます。

幼稚園は人として、どのように振る舞い、どんな気持ちで日々を送れば良いの
か、人生にとって必要な知恵を家族以外の人とのかかわりのなかで、学び始める
第一歩になります。そして、幼稚園は集団生活の場です。「他」との関わり合い
のなかで「必要と不都合」を体験します。今まで家庭のなかで、自分中心で回っ
ていたことが、幼稚園の生活では思い通りに行かなくなります。時には、涙をこ
らえながら悲しさやくやしさを知り、その度に心のひだを増やして他人の優しさ
や、悲しみもわかる子どもに成長していきます。

これから子どもたちは、驚きと発見と新しい体験のまっただなかに入り、興味
と興奮のなかで生活していきます。その時こそ、親は踏みとどまって一歩離れて、
子どもが自分で立ち上がるのを、見守ってあげてください。子どもたちは、少し
ずつ園に慣れ、やがて落ち着きを持ち、必ず皆が幼稚園を大好きになります。

その親の「待つ勇氣」が子どもの力になります。それは、私達教師も同じこと
がいえます。そして、私達も親も子どもと共に成長していきます。

今年度一年間、保護者の皆様からお預かりした大切なお子様が、健康で安心し
て明るく元気に園生活を送れますように全職員で一生懸命に取り組んで参りま
す。

保護者の皆様には、ご心配なことはどうぞご遠慮なくご相談くださって、共に
考えていきたいと思っております。

